

学 園 通 信



No. 262

九里学園高等学校 P T A

2015.4.8 発行

We are Family



ご入学

おめでとうございます

— 2015年度 教職員紹介 —



これからを生きる生徒たちと、 生徒たちと一緒に育てる 保護者たちへ

学校長 九里 廣志

昨年に引き続き、文科省が募集した『スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業』に応募しました。初の募集があった昨年度は、一次の書類審査でふるい落とされてしまいましたが、再度チャレンジした今年度は、SGHには届きませんでしたが、一次の書類審査を合格し、『SGHアソシエイト校（準SGH校。SGH校と一緒にこの事業に参加をすることを認められた学校）』として、この企画にかかわることができることになりました。

「急速にグローバル化が加速する現代の社会に生きる若者たちに、課題に対する関心や深い教養、コミュニケーション能力などを身につけさせ、将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーを育てようとする」この事業に、私たちがチャレンジするのには、次のような考えがあるからです。

置賜地域は周りを山に囲まれ、どちらかといえば閉鎖的な傾向を持つ地域です。しかしこのような地域にも、最近のグローバル化の波は容赦なく覆いかぶさってきています。この地域の企業の多くは、海外の企業とも深く結びついています。また、私たちの判断も、このグローバル化を避けては通れないのです。今はどのような地域にいても、何を仕事としていても、このグローバル化の動きに対応できる人、つまり「グローバル人材」でなければならないのです。ですから、この九里学園に通う生徒たちには、グローバル化に対応する能力を身につけさせたいと、私たちは今までもさまざまなチャンスを与え、教育してきたのです。そして、生徒たちはそれに呼応して、他校の生徒には見られないほど積極的な動きで、期待に応えてきてくれました。嬉しいことです。

今年度も本校では、昨年度に劣らないほどの国際交流を実現したいと思っています。新年度からは中国からの留学生が2名、スウェーデンから3ヶ月間のAFS留学生と一緒に学習します。そして4月には、交流を続けてきたセントジョンズベリーアカデミー（st.J）のメンバーや、オーストラリアでお世話になっているザ・リベリーナアングリカンカレッジ（TRAC）からの短期派遣などが目白押しにやってきます。単なる「笑顔での交流」に終わることなく、少しでも「内容の濃いお付き合い」ができるよう、生徒の皆さんは当然のこと、保護者の皆さんもチャレンジしてみてください。

文科省は「国際機関職員、社会起業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等を輩出する事業」としてSGHを位置づけていますが、草の根のみんながいなければ、本当のグローバル化への対応はできないのです。さあ、みんなで楽しんでチャレンジしましょう。



と くに きそ かわ
 「外つ國と競い交して
 つく な
 新しき世を創り成す」

副校長 笹原 裕一

「ガラパゴス化」という言葉があります。ガラパゴス諸島に由来する造語です。ガラパゴス諸島は南アメリカ大陸から太平洋の西に向かって約900キロのところにある赤道直下の島々です。この島々の生物は長い間、外敵の侵入がなかったために多くの生物が独自の進化を遂げ、この地域にしか生息していない固有種となりました。また、ガラパゴス諸島の生物は生存競争力に乏しく、19世紀になって人間とともに外界から持ち込まれた生物によって、ガラパゴス諸島固有の生物種は存続が危ぶまれています。

「ガラパゴス化」は特に日本の携帯電話（いわゆる「ガラケー」）について述べられたもので、様々な機能の付いた世界最先端の製品に進化したものの、日本国内での独自の進化であったためにかえって国際市場では売れにくくなってしまいました。

現代のグローバル化のもとで、日本の様々な分野がガラパゴス化していると主張する人もいます。つまり高度に発達してはいるけれども世界に通用しないというのです。教育分野でもガラパゴス化が危惧されています。世界の多くの国が以前から「知っていることを活用して何ができるか」を重視する教育に変わってきているのに、日本は依然として「何を知っているか」を重視しています。情報化社会の中で、新しい価値を生み出していくために必要な「論理的思考力」は、「何を知っているか」を重視する暗記重視の教育で培うことはできません。今年、九里学園の教育はガラパゴス化から抜け出すために大きく舵を切っていくこととなります。

グローバル社会で生きていくためにはもう一つ大切なことがあります。九里学園高校の校歌の二番目に「日の本の 若人われら 我が持てる力と業を 外つ國と競い交して あたらしき世を創り成す」の歌詞があります。新入生のみなさん、外つ國（外国）と単に競争して優劣を決めるのではなく、グローバル社会の中で共に生きていくための「心」を九里学園での学びで見つけてください。

祝ご入学

自立のための本当の自由

三学年部会長

田井地 清

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、小学校とは違い、九里学園を選んで入学してきました。自分で選ぶということは、自分の将来や適正を考えた上での選択であり、少しだけ親から自立したような気がしているのではないのでしょうか。自分で決めて、自分で行動できるという自由を手に入れました。

しかし、その自由というのは、わがまま勝手ということではなく、やるべきことをきちんとやった上での「本当の自由」という意味です。言い換えれば、自分で自分の責任を果たさなければ、本当の自由は手に入らないということですが、それは、高校を卒業して、実社会に出ることができるようになるためです。高校時代は、その準備期間と言えるでしょう。高校三年間で、やるべきことをきちんとやり、責任をもって行動することで、本当の自由を得る喜びを感じ、自立できる人間になってほしいと思います。

We are Family

二学年部会長

川 又 康 幸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ「新生活」のスタートです。義務教育を終え、これから始まる学校生活に、夢や希望を持つと同時に、不安や悩みを抱えていることでしょう。時には失敗する事もあると思います。多少の失敗をしても恐れず、勇気を持ってチャレンジしてください。そうすればきっと、悔いのない高校生活が送れるはずです。そのためにはまず、出会いを大切にすることです。皆さんは、今まで過ごしてきた環境、学友との別れ、新たな環境で、新たな出会いをします。この新たな出会いを大切にしてください。九里学園では常に「家族」という言葉を大事にしています。お互いを尊重し合い、苦しい時も、嬉しい時も、常に気持ちを共有しながら生活しています。「家族」がいるから頑張れる、「家族」がいるから安心できる。それが九里学園の精神だと思います。そしてその家族を大切に高校生活を楽しく送って下さい。



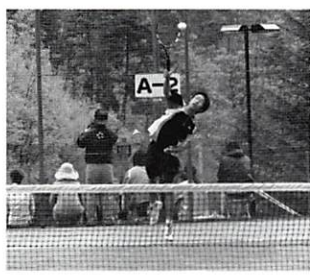
バスケットボール
 (男女)
 バレーボール
 (女)
 ソフトボール (女)
 陸上競技 (男女)
 テニス (男女)
 バドミントン (男女)
 剣道 (男女)
 卓球 (男女)

部活動 愛好会 紹介

□□□□ 新入生のみなさん □□□□
 打ち込めるものを見つけよう

弓道 (男女)	水泳
サッカー (男)	体操
硬式野球 (男)	JRC
スキー (男女)	新聞

演劇
 吹奏楽
 ダンス
 美術・茶道
 生活科学
 英語・文芸
 イラストアニメ
 愛好会
 PC愛好会
 書道



礼 讓



新入生へのメッセージ

平成27年度 職員紹介



教頭
井澤 治

「新入生に期待すること」

ご入学おめでとうございます。みなさんを九里ファミリーの一人として迎えることができても嬉しく思っています。

慣れないうちは「中学の時のクラスのほうがよかったなあ」とか「中学の部活のほうが楽しかった」などと考えてしまいがちです。

しかし、どうやっても昔に戻れるわけではないのですから新しい学校で新しい仲間たちと新しい生活をスタートさせることに思いっきりチャレンジして欲しいと思います。今までの自分がどうであったかをあまり気にすることなく、この九里での高校生活を自分で楽しく作りあげていくんだという意気込みを持って下さい。そんなみなさんを私たち教員はしっかりバックアップしていくつもりです。



学年主任
熊澤 広二
商業科
バドミントン部

《第一学年》

新しい出会いを大切に

新入生の皆さん、そして保護者の皆様ご入学おめでとうございます。学年教員一同、皆さんを九里学園にお迎えできること、大きな喜びと感懐と共に、大切な使命を担うことへの責任も併せて感じているところです。

さて、九里での高校生活において本校の校是である「礼と讓」について学んでいく訳ですが、学年として次のスローガンを掲げます。

《一学年スローガン》
一、思いやりや優しさを持って、「一人との融和を図る」一学年
二、諸活動に「想いを込めて、姿（行動・態度）で示す」一学年
三、困難や失敗を恐れず、「一歩を踏み出す」一学年

人と人との出会いは、いつも運命的です。地球上七十億の人がいてネットで世界中の人々につながる社会があっても、心から理解し合える仲間との出会いは思いのほか少なく、高校での仲間は、あなたにとって貴重な人となるはずです。九里での新しい出会いを大切に、そして三年後「九里に入って本当に良かった」と思ってもらえるよう。私たち教員も全力を尽くします。どうぞよろしくお願致します。



副学年主任
高橋 左和明
保健体育科
硬式野球部

「前向き」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

九里学園での高校生活がいよいよスタートしましたね。まずは、焦らず、慌てず、落ち着いて過ごしていきましょう。友達作りや部活動、そして学習への取り組みなどについて、不安な気持ちでいると思いますが、九里の先輩や先生は本当に親身になつて皆さんをサポートしてくれますので、安心して取り組んでください。向き、不向きを考慮するより、常に「前向き」な気持ちでチャレンジして欲しいと思います。この九里学園というステージで皆さんが日々輝きを増していくことを期待します。共に頑張りましょう。



一組

『二日一日を大切に』



鈴木 淳
理科
卓球部

新入生のみなさん、ご入学おめでとう
ございます。これからどんな高校生活が
待っているのか、どんな人達と出会うの
か、とても楽しみですね。私も、みなさん
が成長していく姿を見せてくれるのを
とても楽しみにしています。
充実した高校生活を送るためには、勉
強でも部活でも目標を持って取り組むと
いうことが重要です。そして、その目標
に向かって一日一日を大切に過ごして下
さい。みなさんの活躍を期待しています。

四組

一期一会



樋渡 理志
芸術科主任(美術)
美術部

ご入学おめでとうございます。
今、皆さんは期待と不安でいっぱい
のことと思いますが、目標をもって一歩一
歩進んでいってほしいと思います。
これから授業や部活動などいろんな場
面でのいろんな人との出会いがあること
と思います。ぜひ、そうした人との出会
いを日々、大切にしてほしいと思います。
そのためには常に相手の立場に立って、
相手のことを思いやって行動することが
大切です。そんな気持ちを忘れず今日
から一緒にがんばっていきましょう。

二組

スタートライン



生徒募集課長
小山田 努
商業・情報科
ソフトボール部

入学おめでとうございます。皆さん
はなぜ高校へ進学したのでしょうか。ま
た、なぜ九里学園へ進学した
のでしょうか。理由は一人一人違う
と思います。ただ共通しているのは
全員スタートラインに立ったという
ことです。ただ単に中学校からの延
長ではなく、新たな気持ちで高校生
活を始められることを期待します。
「九里に入った良かった」と卒業の
時思えるよう、お互いに頑張ってい
きましょう。よろしくお願ひします。

五組

三年間は発見の連続



山本 さくら
英語科
弓道部

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。新たな九里学園の仲間とし
て皆さんを迎えることができ、とても嬉
しいです。
さて、皆さんはそれぞれの目標を持っ
て、九里学園への進学を決めたのだと思
います。しかし、皆さんには、その目標
を達成するだけでなく、新たな自分を発
見して卒業してほしいと思います。その
ためにはぜひ、柔軟な頭と温かい心、広
い視野を持って下さい。一見無駄だと思
えることに宝物が眠っています。

三組

出会いを大切に



遠藤 愛
数学科
書道部

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。
これから皆さんの高校生活が始まりま
す。三年間の高校生活は長いようであつ
という間です。一日一日を大切に過ご
してください。これから新しい出会いがた
くさんあることでしょう。一つひとつの
出会いを大切にしていってください。そ
して、大切な友達・仲間を作ってください。
また、いろいろなことに挑戦し、た
くさんのことを吸収してください。これ
からの高校生活が充実したものになるよ
う、担任としてみなさんの力になりたい
と思います。どうぞよろしくお願ひいた
します。

六組

To Top of the Mountain



国際交流課長
佐藤 健太
英語科
ソフトボール部

新入生のみなさん、ご入学おめでとう
ございます。これから始まる高校生活に
夢や希望で胸をふくらませていること
と思います。みなさんに期待したいこと
を二つあげます。一つ目は「常に、何事
も興味・好奇心を持つこと」です。三年
間の高校生活を登山に例えてみます。頂
上にはみなさんの夢や希望が待ってい
ます。「登るのが苦しい、苦しい」と言っ
ているだけでは、周囲の素晴らしい草花
や景色、仲間との会話を楽しむことはで
きません。いつも自分の周囲に興味を
持つて欲しいと思います。二つ目は「自
分に自信をつけること」です。頑張っ
て努力した後、後ろを振り返ってみれば、
「ここまで登れたんだ」と今までの足跡
を確認し、自分に自信を持って下さい。さ
あ、夢や希望の頂上へ一歩ずつ歩ん
でいきましょう。



《学年付き》



本田 米子
保健体育科
陸上競技部



佐藤 涼子
芸術科(書道)
ダンス部

《第二学年》



学年主任
根津 利栄
芸術科(音楽)
吹奏楽部

「自分の可能性を 最大限に」

新二年生のみなさん、進級おめでとうございます。昨年度を振り返ると、ほとんどの人があつという間だったのではないのでしょうか。

しかし、二年生になると昨年以上に行事も増え、忙しい年になると思います。

ですが、人生の中で自分の可能性を最大限に発揮できるのもこの時期であると思います。学習や生活、また部活動をはじめとする様々な活動において全力で取り組んで下さい。そうすることで、みなさんの進路目標の可能性が広がっていくのですから。

一日一日を大切に、そして有意義に過ごしていきましょう。



担任



一組(教育研究所主任)
高橋 元樹
理科
生活科学部
英語部



二組
鈴木 幸英
地歴公民科
バスケットボール部



三組(生徒会指導課長)
佐藤 秀人
数学科
サッカー部



四組
松岡 大地
英語科
バレーボール部



五組(副学年主任)
高木 ユキエ
保健体育科
バドミントン部
(独自教育推進課長)

二学年付



六組
鈴木 精
国語科
サッカー部



佐藤 由美
商業・情報科
茶道部



原田 隆弘
保健体育科
陸上競技部

職員紹介



生徒指導課長
大滝 勤
地歴公民科
JRC
スキー部・体操部



教育内容充実課長
上村 英俊
国語科
文芸・イラストアニメ愛好会
生徒会広報(新聞)



図書館司書
遠藤 千沙子



進路指導課
保健体育科
五島 訓二



養護教諭
後藤 璃帆



教育相談室
商業・情報科
卓球部
荒井 雄介



教育相談室
岡村 美子



グローバル教育マネージャー
シェーン・シンキンス

《第三学年》



学年主任
吉田 貴美子
保健体育科
バレーボール部

『ひとつになつて 全員プレー』

新三年生の皆さん、進級おめでとございます。

平成二十七年度は、最高学年であるという意識と自覚を持って実践する一年にしていきましょう。各々の進路実現はもちろんのこと、下級生の手本になるように、「自らすすんで」気づき・考え・行動することを目標に、自主自立・自主自律の達成を目指します。

日々の生活の積み重ねが「今」をつくり、自分が生きていきた時間が「人生」となります。苦しいこと、辛いことを嫌がらずに楽しむ！ごまかさずに馬鹿正直に生きる！迷ったら少し休んで前へ進む、人生は選択のくり返しです。失敗こそが自分を高める教材であるように、新三年全員が『ひとつになつて』全校生を元気にリードして行く存在になることを目標に頑張りましょう。



副学年主任 相談室長
鈴木 淳子
国語科
演劇部・ダンス部

担任



一組
遠藤 健
英語科
剣道部・生活科学部
英語部



二組
富樫 宏之
保健体育科
バスケットボール部



三組
我妻 孝浩
数学科
テニス部



四組
横山 明良
英語科
剣道部



五組
佐藤 源太郎
家庭科
硬式野球部



進路指導課長
遠藤 英
地歴公民科
スキー部・体操部



総務課長
片平 淳
数学科
硬式テニス部



六組
岩谷 義彦
地歴公民科
水泳部



三学年付
豊嶋 達也
数学科
PC愛好会



事務長
栗林 雄二



事務
斎藤 妙子



事務
佐藤 貞雄
スキー部



事務
今井 敏博



事務
保土沢 和美
硬式野球部



事務
木村 淳一郎



by Kunori ♪

望



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。高校生となり、これから新しい生活が始まる今、期待と不安で胸がいっぱいだと思えます。多くの活動に参加している九里学園の生活の中で、充実した高校生活を送るために、どんなことにも前向きに活動してください。いろいろな面で大きく成長できます。そして、九里学園は生徒と先生の間に壁がなく、家族のような存在で温かな学校です。みなさんの活動を、私たち生徒や先生方がサポートします。不安なことは遠慮せずに、いつでも私たちに聞いてください。

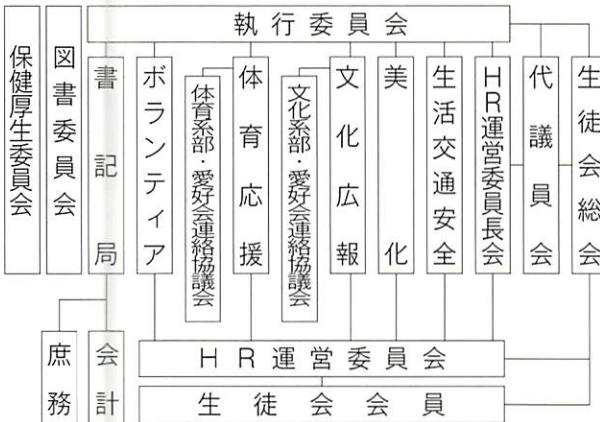
九里学園で一つになって学校生活や行事を楽しんでいきましょう。心から歓迎します。



生徒会長
三年 黒川真奈穂

新たな生活の始まり

生徒会機構図



前期

4月

- 始業式
- St. J 校来校
- 入学式・生徒会入会式
- 特別教育週間 (1年)
- 生徒会オリエンテーション
- 生徒会総会・任命式・壮行式
- PTA総会 (4/27)

5月

- 身体測定・災害訓練
- 上杉祭
- 松川クリーン作戦
- 地区総体
- 学年行事

6月

- 県高校総体
- 読書会

7月

- 定期テスト
- クラスマッチ
- 夏休み
- 進学補講

8月

- 全校集会
- 九里祭

9月

- 地区新人大会
- 創立記念式典
- 生徒会長選挙
- 前期終業式



希



Let's En



新入生歓迎の言葉



生徒会副会長
三年 茂木 意

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。生徒会副会長として新たに学園の仲間を迎えられる事を大変嬉しく感じております。皆さんは、九里学園への進学を決意し、夢への第一歩を踏み出したばかりだと思います。この九里学園では、そんな皆さんの事を応援してくれる先生や先輩、そして環境が十分にありません。ですから皆さんは、ぜひ、どんな事にも興味を持って、一生懸命に取り組んで下さい。そうすれば、必ず皆さんのプラスになる刺激をたくさん得られるはずですよ。私達と共にぜひ有意義な学園生活を過ごしましょう。上級生一同、皆さんの素晴らしい高校生活を応援しています。

ようこそ九里学園へ



生徒会書記局長
三年 齋藤あいら

この春から九里学園の一員となる新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新たな仲間を迎えることを大変嬉しく思います。新しい先生、先輩、友人と出会う、毎日が新鮮で楽しく感じられることと思います。その片面、環境も変わり不安も多いことでしょう。そんな時は、私たちを頼って下さい。九里学園はとてもアットホームな学校です。行事や部活動、日々の生活を通して絆が深まるでしょう。高校は自分の人生を左右する大切な時期です。共に切磋琢磨し、楽しい学園生活を送っていきましょう。

後期

10月

始業式・任命式
県高総文祭
体育祭
生徒会総会

11月

県新人大会
2年プロハワイ研修
2年国内研修旅行
2年オーストラリア研修

12月

定期テスト
冬休み

1月

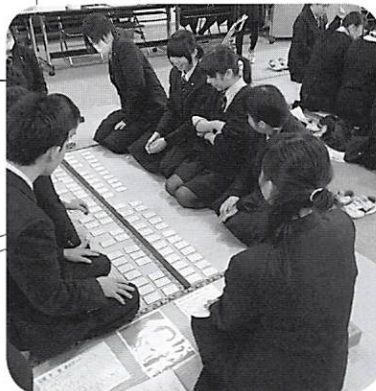
全校集会
百人一首カルタ大会
大学入試センター試験
3年定期テスト

2月

雪灯籠祭

3月

3年修了式
卒業式
1・2年定期テスト
生徒会総会
1・2年修了式



退職なされた先生方



塩崎 慶枝 先生
高橋 悦子 先生
須貝 健一 先生
中山 大輔 先生
斎藤久美子 先生
大木 善子 先生

ありがとうございました

新任の先生方



後藤 璃帆 先生
松岡 大地 先生
山本さくら先生
鈴木 淳 先生
英語科・二・四担任
バレーボール部
英語科・一・五担任
弓道部

PTA活動紹介

広報委員会の活動について

H27年度広報委員会委員長 島貫 直子
新入生の皆さん、御入学おめでとう
ございます。
九里学園には、年に数回「学園通信」という広報を発行しております。このPTA活動の中の広報委員会は各クラスから一名と担当の先生方で構成されています。「学園通信」を通して皆さんに、PTA活動や学校行事でのお子様の様子など紹介してまいりますので毎回の広報を楽しみにしていただけたいと思います。是非、一緒に御父兄の皆様、広報の仕事をしてみませんか。

服装委員会の活動について

H26年度服装委員会委員長 小笠原英美子
二十六年年度の活動は五、六、七、九、一〇、十一月に学校の昇降口前にて立哨指導を行いました。生徒さんの元気な挨拶と制服の着こなしぶりを拝見し、すがすがしく活動をすることができました。二十七年年度は立哨のほか、制服バンクの取り組みや冬の防寒着について委員会としても意見を集約していく予定です。昨年度引き受けて下さった方々は、引き続き委員会の活動をお願いいたします。

九里のPTAはこんな活動をしています

PTA活動

服装委員会

1 学年

- 本 部
- 米沢第1支部
- 米沢第2支部
- 米沢第3支部
- 米沢第4支部
- 米沢第5支部

広報委員会

2 学年

- 米沢第6支部
- 米沢第7支部
- 南原支部
- 高 畠 支部

3 学年

- 南陽支部
- 川西支部
- 長井白鷹支部
- 飯豊小国支部

それぞれの支部活動は、HPにもアップされています。

編集後記

新入生の皆さん、入学おめでとう。新たな環境で様々な事にチャレンジする皆さんを心から歓迎します。広報委員会では、保護者の皆様と協力しながら先生方の想いや生徒の活動の様子などを伝えていき、様々なことを発信していきたいと思っております。よろしくお願いたします。
(我妻 孝浩)

PTA 総会のご案内

4月27日(月)…時間は後ほどお知らせします。

- ・ 総 会
- ・ 学年保護者会
- ・ 学級保護者会

※総会の前に授業参観を予定しています。